

小松島市地域公共交通計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果

1	意見募集案件	小松島市地域公共交通計画（素案）
2	意見募集期間	令和5年1月20日（金）～令和5年2月3日（金）
3	閲覧場所	市ホームページ 小松島市地域公共交通活性化協議会事務局 （市役所1階市民生活課）
4	意見提出者数	2名
5	意見提出件数	3件
6	意見の概要に対する協議会の考え方	下記のとおり

No.	意見の項目	意見の概要	協議会の考え方
1	和田島線(イオンモール経由)について	施策①路線バスの再編で和田島線を目佐和田島線と同様に市内完結路線へ部分移行。将来的には市内完結路線への転換を検討とありますが、小松島市に大型商業施設や魅力あるスポットが残念ながらないため土日祝日は従来通りの時間帯でイオンモール経由徳島駅前まで走る便を残してほしいです。	計画（素案）では、新たな交通モード（デマンド交通）導入等、移動手手段の総動員により、移動手手段を確保したうえで、幹線路線と協定路線の位置づけを踏まえつつ、利用実態に対応したバス路線の再編による効率化を図ることとしております。 【参照：（P66）課題解決に向けた方向性】
2	南小松島駅の待合環境について	施策⑨施設の概要に観光などで訪れる南小松島駅の待合環境の改善を図りますとありますが、南小松島駅にあるトイレは非常に古く水洗ではありません。薄暗いため防犯面も気になります。他の県・市の主要駅に行くときれいで清潔なトイレがあり観光客または駅を利用する地域の人にも気分よく利用することができます。南小松島駅に水洗で利用しやすいトイレを整備していただきたいです。	計画（素案）では、地域拠点や主要施設で公共交通を利用しやすい環境整備を進めていくこととしております。また、今後のアフターコロナで観光客の増加することを見据え、観光客など初めて小松島市内で公共交通を使う人にとっても利用しやすい主要施設とするように取り組んでいきたいと考えております。 【参照：（P67、68）課題解決に向けた方向性】

No.	意見の項目	意見の概要	協議会の考え方
3	公共交通全般 について	<p>現在は、市民の車の所有率は高く、一人一台という世帯もあり、まだ公共交通を主要な移動手段として利用する人は少ないと思います。</p> <p>しかし、今後、高齢者が増加し免許返納する人も増えると想定され、公共交通がますます欠かせないものとなると思います。</p> <p>誰もが活躍できるまちになるために、誰もが使いやすい公共交通を取り入れてほしいです。</p>	<p>公共交通の必要性や維持・充実に對するニーズは高いものの、積極的な利用に繋がっていないのが事実です。</p> <p>今後更なる高齢化の進展により、運転に不安を持つ高齢者の数は増加し、地域をカバーする公共交通の役割は重要性を増すことが予想されます。</p> <p>このことから、新たな交通モード（デマンド交通）導入等のモーダルミックスを推進してまいります。</p> <p>【参照（P66）課題解決に向けた方向性】</p>